

## 第3章 交通戦略の基本方針

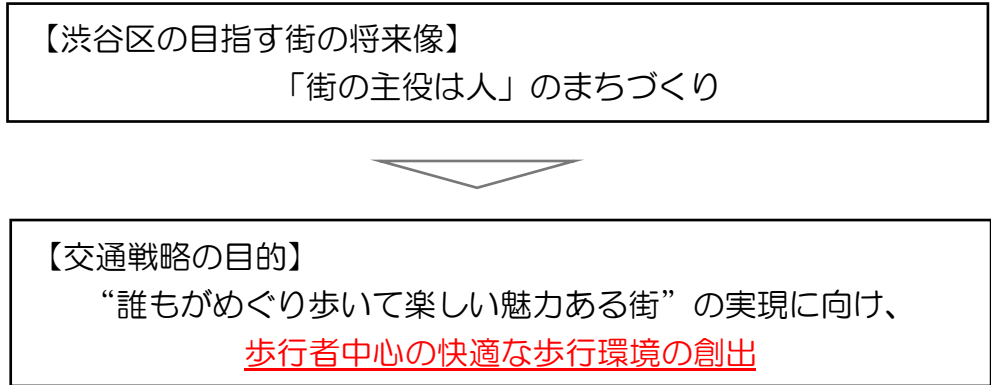
1. 基本方針の考え方 .....	37
2. 3つの基本方針 .....	38
2.1 基本方針1 “あるく” .....	39
2.2 基本方針2 “はしる” .....	40
2.3 基本方針3 “とめる” .....	41
3. 目指す街の将来像を実現するための戦略.....	42



# 1. 基本方針の考え方

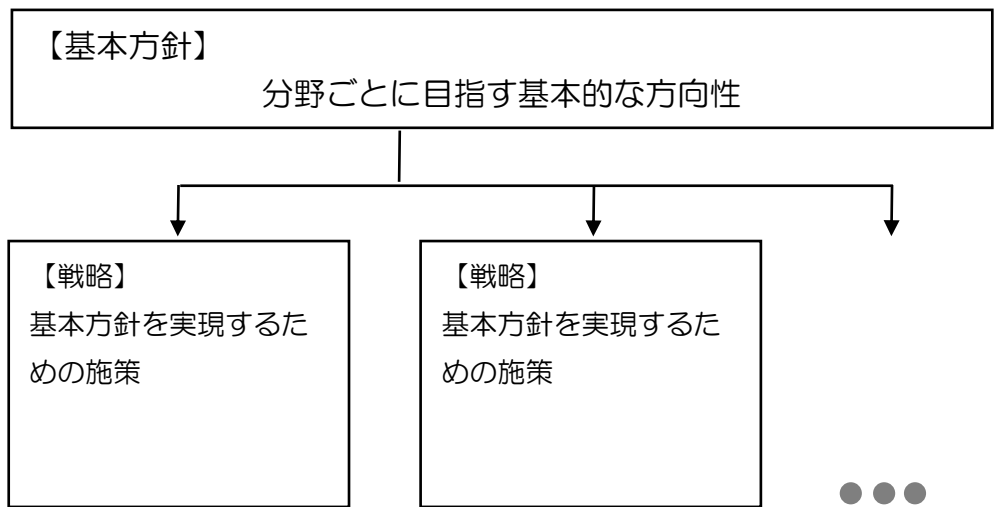
## (1) 交通戦略の目的

“渋谷区の目指す街の将来像”の基本は「人」であり、様々な人が自分らしく豊かに生きられる都市を目指して、人中心のまちづくりに資する都市基盤を創出するために、交通戦略を策定します。



## (2) 交通戦略の基本方針と戦略

交通戦略では、「歩行者中心の快適な歩行環境の創出」を行うために、分野ごとに目指す方向性を示す「基本方針」と、その基本方針を実現するための「戦略」を策定します。



## 2. 3つの基本方針

渋谷駅中心地区の大規模再開発事業に加え、渋谷駅周辺地域においても、老朽化した建物の建替え更新などに伴う大規模再開発事業の機運が高まっており、今後、さらに多くの人や物流が増えるものと想定されます。

渋谷区の上位計画において掲げられる「誰もがめぐり歩いて楽しい魅力ある街」を実現するために、歩行環境づくりを目指す“あるく”、車両の通行環境づくりを目指す“はしる”、駐停車車両の環境づくりを目指す“とめる”の3つを交通戦略の基本方針と設定し、この3つの基本方針が互いに連携・調整することで、より良い交通基盤を整え、歩行者中心の快適な歩行環境の創出を目指します。

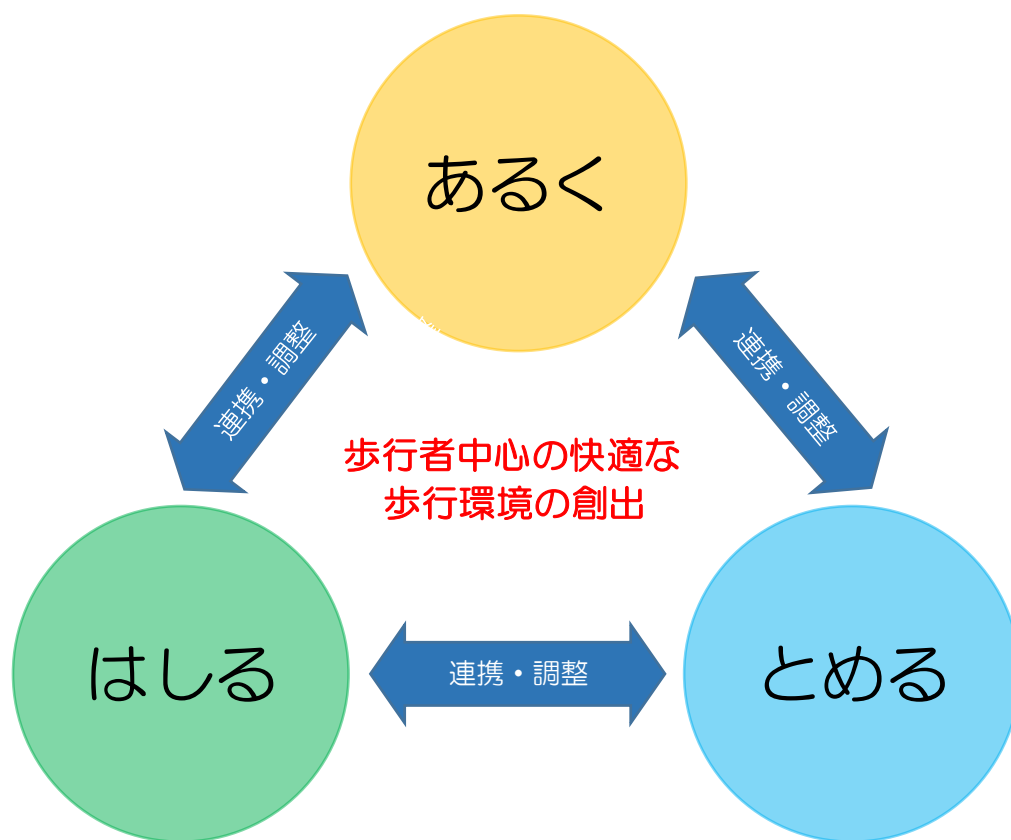


図 3- 1 交通戦略の基本方針

## 2.1 基本方針1 “あるく”

- 安全で快適に回遊しやすい歩行者ネットワークの構築や、誰にとっても移動しやすい環境の創出を図るとともに、エリアや路線の特性を活かした空間を創出することにより、**にぎわいのある歩行空間の創出**を目指します。

渋谷駅周辺地域は、通勤・通学で日常的に利用する人、飲食や買い物など街を楽しみに来る人など、様々な用途や目的により、平休日を問わず多くの人々が行き交う街です。

このような人々が通行する、駅から街（各エリア）へ向かう「放射路線」、各エリア間をつなぐ「環状路線」によるネットワークを強化し、回遊性の高い歩行者ネットワークを構築するとともに、エリア内の路地などについても安全性、快適性を高めることで、面的な散策ネットワークの創出を目指します。

また、渋谷駅周辺地域の回遊性を高めるために勾配や高低差を解消し、誰もが移動しやすいバリアフリーに配慮された街を目指します。

さらに、“渋谷らしさ”の魅力を残す、にぎわいのある店舗が立ちならぶ街並みやオフィス街など、エリアや路線ごとの特性に応じた歩行環境を創出することで、にぎわいのある歩行空間の創出を目指します。

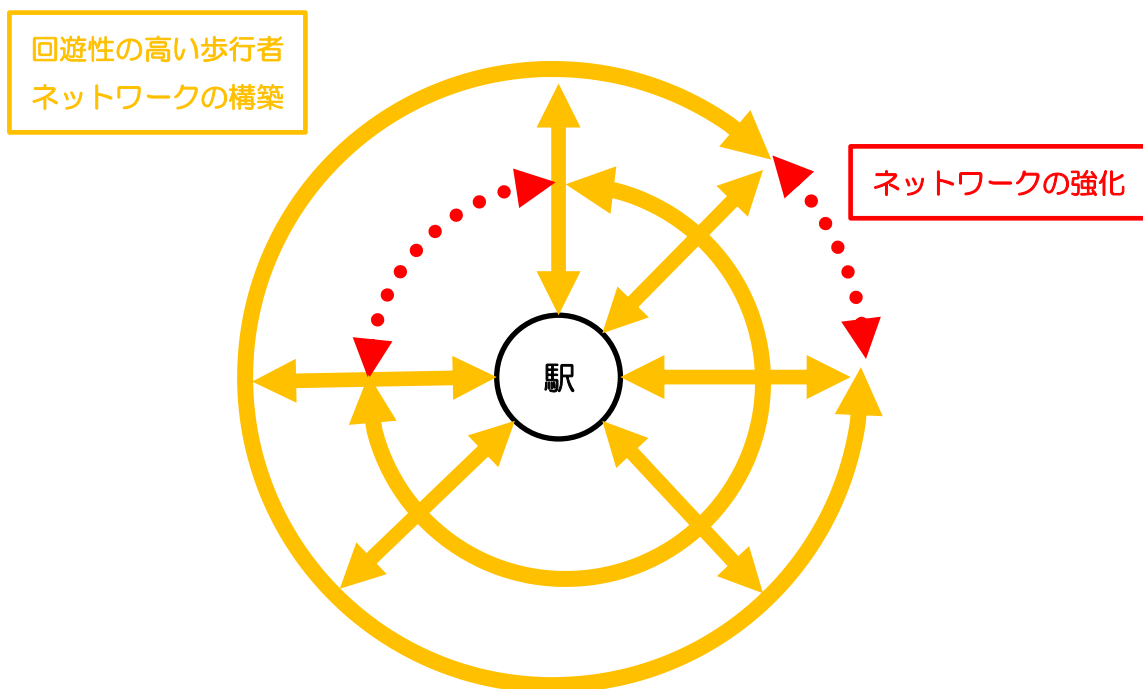


図 3-2 歩行者ネットワークのイメージ

## 2.2 基本方針2 “はしる”

- 地域内の道路の役割を明確化し、交通ネットワークの整序化を図るとともに、歩行者・自転車・自動車それぞれの通行環境を整序化することにより、**安全で快適な通行環境の創出**を目指します。

渋谷駅周辺地域では、国道246号や明治通りといった幹線道路が渋谷駅に隣接し、都内を東西、南北に移動する自動車の主要経路となっています。一方、地域内の道路は多くの歩行者に使われており、これらの道を抜け道として利用する通過交通により、地域内の交通環境への影響や歩行者との交錯も見受けられます。

そのため、自動車を通る道路の役割を明確化することにより、通過交通を抑制し、地域内を効率的に移動ができる交通ネットワークの構築を目指します。

さらに、道路空間において歩行者・自転車・自動車が共存する通行環境を整え、優先順位を明確にすることにより、歩行者の安全を確保するだけでなく、自転車、自動車にとっても安全、安心な通行環境の創出を目指します。

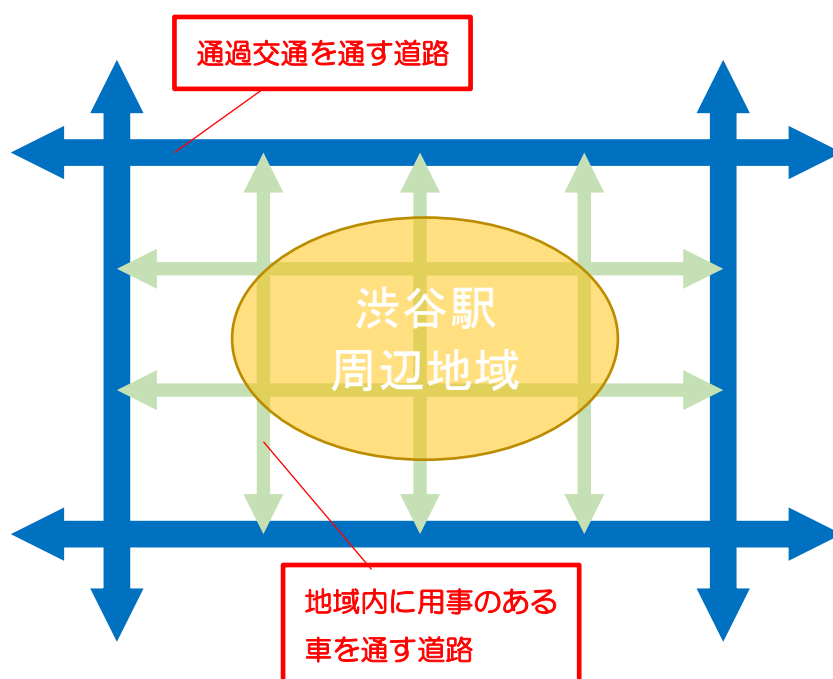


図 3-3 交通ネットワークのイメージ

### 2.3 基本方針3 “とめる”

- 駐車場を集約し道路空間を占有する路上駐車や路上停車の整序化を図ることにより、自動車と歩行者の交錯を減らし、また駐車場の集約化により駐車場の出入口数を削減することで**路面店の形成に寄与し、にぎわいの創出**を目指します。

渋谷駅周辺地域では、路上駐停車車両が多く、道路空間の一部を占有しており、歩行者の通行機能の低下や、自動車交通の円滑性が損なわれています。

そこで、路上駐車車両の排除や路上停車車両の整序化を図ることで、歩行者や自動車の通行空間への転換を目指します。

また、地域内における建物の建替え更新が進められることで、各建物に駐車場の出入口が整備され、渋谷の特性である連続した路面店の形成に影響を及ぼすことが想定されます。

そのため、駐車場を集約し出入口数を削減することで、自動車の交錯を減らし、歩行者の安全性の向上を図るとともに、沿道景観の形成や路面店形成に寄与することで、にぎわいの創出を目指します。

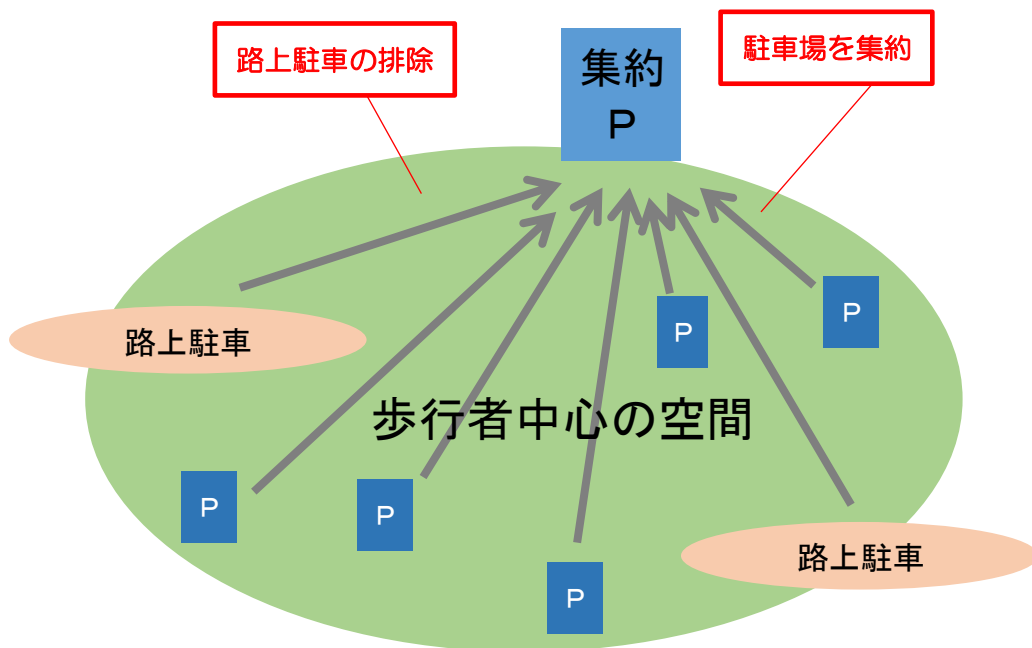


図 3-4 駐車場の集約イメージ

### 3. 目指す街の将来像を実現するための戦略

交通戦略の3つの基本方針ごとに2つの戦略を設け、「誰もがめぐり歩いて楽しい魅力ある街」を実現するために、歩行者中心の快適な歩行環境の創出に向けた施策を推進します。

また、3つの基本方針と6つの戦略のほかに、街の課題や今後の技術革新に応じたまちづくりを推進するため、2つの戦略を設定します。

目指す街の将来像

交通戦略の目的

「街の主演は人」  
のまちづくり

歩行者中心の  
快適な  
歩行環境の創出

